

2.2 成果の概要

2.2.1 管理調整部

アジア太平洋地域の経済環境変化等が国際物流に及ぼす影響に関する研究

Impact of economic partnership and other policies in Pacific-rim countries on international logistics.

(研究期間 平成 28 年度～)

管理調整部 国際業務研究室

研究官 寺西 裕之

[研究目的及び経緯]

世界経済のグローバル化が進むなか、我が国を含む北東アジア・東南アジア地域においても経済成長に伴う貿易の拡大や経済連携が進展し、新たな産業の展開や技術革新、物流インフラ整備等の経済環境変化等は、国際海上輸送等の国際物流に急速かつ大きな変化をもたらしている。

このため、グローバルな視点から経済連携や産業展開の進展、各国の政策やインフラ整備等の情勢、脱炭素化、資源エネルギーを巡る動向、経済安全保障、地政学的リスク等を踏まえて、その我が国や関係国等の国際経済・貿易活動に及ぼす影響を把握し、国際海上輸送を中心とした国際物流の動向等を分析していくことは、我が国港湾の国際競争力の強化等の港湾政策、並びに相手国や我が国、さらには関係国等にとっての利益や安定に資する「三方よし」の考え方で進める海外へのインフラの輸出政策を推進する観点から必要不可欠である。

本研究は、我が国や関係国等の国際物流に影響を与える経済環境変化等を踏まえて、国際船舶の動静に係るデータ等を分析し、国際海上輸送に関する今後の動向や物流インフラの将来の課題等を検討するものである。本研究で開発した船舶動静データの分析技術については、JICAの技術協力を通じて、スエズ運河岸における一部複線化が完了した運河の利用促進のための取り組みに協力した。

本年度は、シェール革命が進展しているアメリカにおいて、石油・天然ガス（LPG、LNG）の生産・輸出の増加や国内で余剰となった石炭の輸出の増加等の輸送環境の変化を踏まえて、2016年に拡張されたパナマ運河に関する分析を行い、国総研資料に取りまとめて公表した。本資料は、我が国の海外インフラシステムへの関与の必要性や合理性を示すとともに、エネルギー資源調達国の多角化等、地政学的な見地から、パナマ運河、一部競合関係が示されたスエズ運河等の海外インフラシステムや我が国港湾関係技術の海外展開の意義を考える一助となるものである。